

**【事例 H27-03-09】 宮崎県****地域で見守る「こころの健康サポーター」養成事業  
＝理美容店と連携し、地域における見守りの輪を広げる＝**

県民にとって地域で身近な理美容店の関係者に対し、「気づきや声かけ」に関する「こころの健康サポーター」養成講座を実施し、「こころの健康サポート」協力店として、日頃の業務の中で声かけや傾聴に取り組みながら、必要に応じてお客様へ相談機関の情報提供等を行う協力を依頼し、地域における見守りの輪の充実を図った。

**【実施主体】** 宮崎県**【大綱の分類】** 早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する**【事業予算】** 平成 26 年度 1,130 千円（1,115 千円）**【利点】****【実施に至るまで】****【背景・必要性・理由の概要・等】**

自殺を防ぐには、地域全体で悩んでいる人に寄り添い、関わることを通じて「孤立」を防ぐとともに、専門機関に早期につなぐことにより、早い段階で悩みを解決に結びつけていくことが重要である。特に働き盛り世代など医療機関や相談窓口との接点の少ない年齢層に対し、予防介入できる人材や機会を増やしていく必要がある。

本県の自殺者数は、平成 10 年に大幅に増加してから概ね 300 人台後半で推移し、平成 19 年に過去最高の 394 人を記録後、減少傾向にあり、平成 25 年は前年比 21 人減の 256 人となっている。自殺死亡率は、22.9 で全国では 9 番目に高くなっている。

**【計画を立てる上での工夫・等】**

- ・ 多忙な理美容店関係者に負担をかけないよう定例の衛生講習会を活用した。
- ・ 講義部分は簡潔にし、接客デモンストレーションを行うなど、参加者に分かりやすいものとなるよう努めた。
- ・ 本事業に全面的に協力いただいた県理美容組合には、3 月に実施した自殺対策フォーラムにおいて、それぞれ知事感謝状の授与を行った。

**【具体的な内容・実施の過程】**

- ・ 講座の実施に関する調整は、県（自殺対策担当、衛生担当）、保健所（自殺対策担当、衛生担当）、県生活衛生営業指導センター及び県理美容組合で行った。
- ・ 講座の実施にあたっては、本県の市民活動団体（ヘルプラインいのち）に協力をいただいた。

**【成 果】**

**【補 足】**

**【課 題】**

・ 今後は県内で未実施の地区において、順次講座を開催していくとともに、県民生活に密着した事業展開を行うその他の業種の事業者にも協力を呼びかけていく。

**【事業種別】** 人材養成事業

**【準備期間・人数】**

**【予防段階】** 1次

**【自治体規模】** 人口 110.4万人（H27国勢調査から） 財政規模

**【自治体負担率】**

**【事業対象】** 理美容店関係者

**【支援対象】** 一般市民

**【実施主体・問合せ先】** 宮崎県福祉保健課地域福祉保健・自殺対策担当

TEL: 0985-26-7075 E-

mail: fukushihoken@pref.miyazaki.lg.jp

URL: <https://www.pref.miyazaki.lg.jp/>

**【参考資料・文献】** 平成22年国勢調査、人口動態統計

**【作成日】** 2017/1/19